

## 予算決算常任委員会委員長報告

去る2月28日及び3月3日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案13件です。議案につきましては、各分科会におきまして慎重な審査を行い、各分科会長から報告を受けた後、報告に対する、質疑、討論、採決を行いました。以下審査の経過と結果について順次報告いたします。

### 記

1 審査年月日 令和7年3月19日(水)

2 場 所 議 場

3 出席委員 小久保博雅、金森すみ子、毛呂一夫、斉藤 章  
永井 司、青野康子、高橋 誠、工藤日出夫、  
大嶋達巳、村田裕子、桜井 卓、保角美代、  
諏訪幸男、岡村有正、湯沢美恵、中村洋子、  
今関公美、島野和夫、現王園孝昭

4 審査結果

「議案第9号」令和7年度北本市一般会計予算については、修正案を賛成少数により否決すべきものと決定しました。また、原案を賛成多数により可決すべきものと決定しました。

「議案第10号」令和7年度北本市後期高齢者医療特別会計予算については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第11号」令和7年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算は、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第12号」令和7年度北本市国民健康保険特別会計予算については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第13号」令和7年度北本市介護保険特別会計予算については、賛成全

員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第14号」令和7年度埼玉県央広域公平委員会特別会計予算については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第15号」令和7年度北本市公共下水道事業会計予算については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第27号」令和6年度北本市一般会計補正予算（第8号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第28号」令和6年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第29号」令和6年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第30号」令和6年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第31号」令和6年度北本市介護保険特別会計補正予算（第5号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第32号」令和7年度北本市一般会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

#### ◎「議案第9号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 債務負担行為に関して、「小学校GIGAスクール学習用端末入替業務

に関して、1台あたりの価格及び補助について」質疑がありました。

(2) 市税のうち市民税に関して、「個人市民税及び法人市民税の予算額が令和6年度より増加している要因について」質疑がありました。

(3) 財産収入のうち不動産売払収入に関して、「不動産売払収入として計上された3,608万9,000円の算出根拠について。また、なぜ北本市として山林を保有しているのか」と質疑がありました。

(4) 寄附金のうち一般寄附金に関して、「令和7年度のふるさと応援寄附金を14億1,000万円と見込んでいるが、令和6年度の13億1,000万円から1億円の増額としている要因について」質疑がありました。

(5) 市債のうち教育債に関して、「小・中学校体育館空調設備設置事業に活用される緊急防災・減災事業債が有利とされる理由について」質疑がありました。

(6) 総務費のうち情報管理費に関して、「情報ネットワーク業務経費に関する予算が増加している要因について」質疑がありました。

財産管理費に関して、「庁舎維持管理経費の電気料金及びガス料金に関して、令和6年度より減額としている要因について」質疑がありました。

企画財政総務費に関して、「ふるさと納税業務経費の増加に対し、成果はどのように評価しているのか」と質疑がありました。

会計管理費に関して、「会計業務経費における収納業務委託料が令和6年度より増額となった要因について」質疑がありました。

基幹統計費に関して、「基幹統計業務経費における委託料の内訳について」質疑がありました。

(7) 教育費のうち学校管理費に関して、「小・中学校体育館空調設備設置事業のスケジュールについて」等の質疑がありました。

社会教育総務費に関して、「市民活動交流センター施設維持管理経費において、指定管理委託料とは別に窓口業務委託料が計上されている要因について」

質疑がありました。

文化財保護費に関して、「デーノタメ遺跡保存計画の概要について」質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 民生費のうち社会福祉総務費に関して、「リンクワーカー事業の内容及び予算について」質疑がありました。

障がい者福祉費に関して、「障害福祉サービス費の増額理由と増加しているサービスについて」質疑がありました。

老人福祉施設費に関して、「高齢者ラウンジ管理運営経費の業務支援委託料の内容について」質疑がありました。

児童福祉総務費に関して、「子育て世帯訪問支援事業の内容と委託料の積算方法について」質疑がありました。

児童措置費に関して、「児童施設運営費の扶助費の増減理由について」質疑がありました。

(2) 衛生費のうち予防費に関して、「妊婦のための支援給付交付金の内容について」等の質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 継続費に関して、「北本駅東口駅前シェルター整備事業の総額4億5,000万円の内訳について」質疑がありました。

(2) 債務負担行為に関して、「自動体外式除細動器借上業務2,359万8,000円の内容について」質疑がありました。

(3) 繰入金のうち基金繰入金に関して、「森林環境整備基金繰入金723万4,000円を充当する事業について」、「南部地域整備基金繰入金2,970万円の充当事業について」質疑がありました。

(4) 総務費のうち戸籍住民基本台帳費に関して、「戸籍法改正に伴う戸籍への振り仮名記載事業4,631万8,000円の内訳とコールセンター業務等の詳細につ

いて」質疑がありました。

交通安全対策費に関して、「駐車場管理業務委託料212万7,000円について、令和6年度の316万8,000円から大幅減となった要因は」と質疑がありました。

(5) 衛生費のうち塵芥処理費に関して、「基本計画策定委託料1,201万2,000円の内容について」等の質疑がありました。

(6) 商工費のうち商工振興費に関して、「北本カレーフェスティバル負担金200万円の支出先及び事業の内容について」質疑がありました。

(7) 土木費のうち土木総務費に関して、「地籍調査業務経費について、令和9年度からの調査開始に向け、今後どのように取り組んで行くのか」と質疑がありました。

道路維持費に関して、「有害鳥獣防除委託料89万1,000円で実施する駅周辺のムクドリ対策の内容について」等の質疑がありました。

街路事業費に関して、「中央通線整備事業経費の調査業務委託料50万円について、前年度比300万円の減となっているが、今後どのような形で業務を進めていくのか」と質疑がありました。

総務文教分科会会長報告に対し、「デーノタメ遺跡等普及啓発事業について、シンポジウムや縄文まつりの内容、また、これらのイベントの計画性、正当性及び必要性などの質疑はあったのか」、「きたもと子どもの権利の日のイベントについて、健康福祉分科会では令和7年度の新規の予算はないと確認ができているが、総務文教分科会では確認をしているか」と質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対し、「令和7年度に多くの建設事業を実施することに対する必要性や緊急性をどのように審査したのか」、「北本駅西口駅前シェルターの工事について、一部の天井材が剥離するなど落下の危険性があるということだが、直ちに工事をせず、令和7年度に予算計上していることについて質疑があったのか」、「森林環境整備基金繰入金の充当事業として、さんた亭の椅子の入替え業務を行うということだが、この基金で事業を行う理由

と、椅子1脚当たりの費用、また何脚入れ替える予定なのか質疑があったのか」と質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はありませんでした。

質疑を終了し、討論に入る前、委員より委員長に提出された本案に対する修正案について趣旨説明がありました。

修正案の内容は、農林水産業費の農業費のうち農業振興費の一部に要する258万9,000円の歳出予算の減額を行うとともに、森林環境整備基金繰入金について258万9,000円の減額を行うことでした。

なお、修正案については別紙の修正案を御参照いただきたいと思います。

修正案に対して、「提出者はさんた亭の椅子を見たことがあるのか、ぐらつきや危険なため撤去した椅子もあり、席数を減らして営業しているので更新は必要だと思うが、見解は」、「埼玉県産材を使った製品としては、法外な金額ではないと感じるがいかがか」、「森林環境譲与税はどのような事業に充てていくことが望ましいと思っているのか」、「さんた亭は公費で整備して営業しているので、市が公費で椅子を用意すべきでないなら、さんた亭関連予算全てを修正する案が出てしかるべきだと思うが、なぜ椅子の経費だけ修正なのか」、「一般財源を残して森林環境整備基金を使うという判断は誤っていないと思うが、見解は」、「予算全体で見ると大きな金額ではなく、討論や決議で予算執行に対する意見を付すことでもよかったと思うが、全額を減額修正することへの見解は」、「提出者は、さんた亭の椅子として6万4,000円は高価と感じていると捉えたが、さんた亭をどのような施設と考え、今後どのような施設になっていけば良いと考えているのか」、「椅子はどのくらいの金額であれば妥当と考えるのか」、「予算で見積もった単価が高いということだけでは、全額減額する理由にはならないのではないか」、「市の魅力発信施設が隣接するさんた亭に、埼玉県産材の椅子を置くことは県への愛着醸成にもつながると思うが、見解は」、「さんた亭がいつ開業し、これまでの間、椅子の入替えがあったの

かを調べているか」等の質疑がありました。

原案に賛成、修正案に反対の討論が1件、原案に反対、修正案に反対の討論が2件、原案に反対、修正案に賛成の討論が2件ありました。

#### ◎「議案第10号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 後期高齢者医療保険料のうち普通徴収保険料に関して、「普通徴収保険料の徴収率について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第11号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 事業費のうち土地区画整理費に関して、「街路整備工事4億5,160万円と物件補償2億280万円の具体的な内容について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第12号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 保険給付費のうち療養諸費及び高額療養費に関して、「被保険者数の見込みと、療養諸費と高額療養費の積算について」質疑がありました。

(2) 保健事業費のうち特定健康診査等事業費に関して、「特定健康診査等事業費の減額の理由について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、本案に反対の討論が2件、賛成の討論が1件ありました。

#### ◎「議案第13号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 総務費のうち介護認定費に関して、「介護認定業務経費の増額理由について」質疑がありました。

(2) 保険給付費のうち介護サービス等諸費に関して、「介護保険事業計画の

反映について」質疑がありました。

(3) 地域支援事業費のうち一般介護予防事業費に関して、「健康長寿推進事業の委託料の減額理由及び委託の効果について」質疑がありました。

任意事業費に関して、「緊急時通報システム業務委託の内容について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第14号」について

総務文教分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第15号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 収益的収入及び支出に関して、「下水道事業費用の特別損失として、過年度損益修正損190万円を計上した理由について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第27号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 市税のうち固定資産税に関して、「固定資産税を増額補正した要因について」質疑がありました。

(2) 地方交付税のうち地方交付税に関して、「追加交付が決定した地方交付税の金額と内訳について」質疑がありました。

(3) 教育費のうち学校給食費に関して、「小学校給食費負担軽減事業における第2子以降の給付について、第2子の定義は、小学校に2人以上通う場合の2人目以降を指すのか、それとも家庭全体での第2子以降を指すのか」と質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 民生費のうち社会福祉総務費に関して、「生活困窮者自立支援業務経費の3つの給付金と住居確保給付金の減額の理由について」質疑がありました。

児童措置費に関して、「民間保育所入所委託料と施設型給付費が増額になっている理由について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 県支出金のうち土木費県補助金に関して、「身近なみどり市町村支援事業補助金45万1,000円を活用して実施した事業の内容について」質疑がありました。

(2) 総務費のうち地域振興費に関して、「協働提案事業負担金200万円の補正減の要因について」質疑がありました。

総務文教分科会会長報告、健康福祉分科会会長報告及び建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第28号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 繰入金のうち保険基盤安定繰入金に関して、「1,501万3,000円の減額の原因について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第29号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 繰越明許費に関して、「繰越明許費5,528万6,000円の内容及び令和7年度に繰り越すことになった理由について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

#### ◎「議案第30号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 県支出金のうち保険給付費等交付金に関して、「県補助金の特別交付金が508万2,000円の減額で、国庫補助金の社会保障・税番号制度システム整備費補助金が同額の増額となっている理由について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第31号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 国庫支出金及び県支出金の介護給付費負担金に関して、「国庫支出金9,784万5,000円と県支出金2,924万6,000円の減額の理由について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第32号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 国庫支出金のうち土木費国庫補助金に関して、「社会資本整備総合交付金を当初予算額から2,480万円減額補正する理由について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

なお、各分科会会長から報告のあった内容の詳細につきましては、各分科会会長報告のとおりですので、御覧いただきますようお願いいたします。

以上報告いたします。

令和7年3月25日

予算決算常任委員会  
委員長 現王園 孝 昭

北本市議会議長 滝 瀬 光 一 様

「議案第9号」令和7年度北本市一般会計予算に対する修正案

「議案第9号」令和7年度北本市一般会計予算の一部を次のように修正する。

第1条第1項中、「28,017,000千円」を「28,014,411千円」に修正する。

第1条第2項中、「第1表 歳入歳出予算」を別紙のとおり修正する。

令和7年3月19日 提出

提出者 予算決算常任委員 工 藤 日出夫

予算決算常任委員会委員長 現王園 孝 昭 様



別紙

「議案第9号」令和7年度北本市一般会計予算に対する修正案

第1表を次のとおり修正する。

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入 (単位 千円)

款	項	金 額
18 繰入金		2,222,925
		<del>2,225,514</del>
	2 基金繰入金	2,194,156
		<del>2,196,745</del>
歳 入 合 計		28,014,411
		<del>28,017,000</del>

歳 出 (単位 千円)

款	項	金 額
6 農林水産業費		104,452
		<del>107,041</del>
	1 農業費	104,452
		<del>107,041</del>
歳 出 合 計		28,014,411
		<del>28,017,000</del>

(参考) 令和7年度北本市一般会計予算 修正案に関する説明書

## 歳入歳出予算事項別明細書

### 1 総括

(歳入)

(単位 千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
18 繰入金	2,222,925 <del>2,225,514</del>	1,701,847	521,078 <del>523,667</del>
歳入合計	28,014,411 <del>28,017,000</del>	24,210,000	3,804,411 <del>3,807,000</del>

(歳出)

(単位 千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
6 農林水産業費	104,452 <del>107,041</del>	97,894	6,558 <del>9,147</del>	8,583		16,696 <del>19,285</del>	79,173
歳出合計	28,014,411 <del>28,017,000</del>	24,210,000	3,804,411 <del>3,807,000</del>	6,641,899	2,056,800	3,075,290 <del>3,077,879</del>	16,240,422

2 歳 入

第 18 款 繰入金

第 2 項 基金繰入金

目	本年度	前年度	比較	節		説 明
				区 分	金 額	
1 基金繰入金	2,194,156 <del>2,196,745</del>	1,673,256	520,900 <del>523,489</del>	1 基金繰入金	2,194,156 <del>2,196,745</del>	4,645 <del>7,234</del>
計	2,194,156 <del>2,196,745</del>	1,673,256	520,900 <del>523,489</del>			

3 歳 出

第 6 款 農林水産業費

第 1 項 農業費

目	本年度	前年度	比較	本年度予算額の財源内訳				節	説 明
				特 定 財 源			一般財源		
				国県支出金	地方債	その他			
3 農業振興費	28,211 <del>30,800</del>	26,794	1,417 <del>4,006</del>	県補 3,400		使 12,679 繰 4,000 <del>繰 6,589</del>	8,132	17 備品購入費 <del>2,589</del>	
				県補 3,400		使 12,679 繰 4,000 <del>繰 6,589</del>	8,132	農業振興対策業務経費 (産業観光課) <del>17 備品購入費</del> 椅子類	28,211 <del>30,800</del> <del>2,589</del>
計	104,452 <del>107,041</del>	97,894	6,558 <del>9,147</del>			16,696 <del>19,285</del>	79,173		